

交換留学修了レポート

留学先大学（国名）	イエテボリ大学（スウェーデン）	留学期間	2015年8月～2016年6月
所属学部・専攻	教育学部	性別	男性

【生活に関するレポート】

Olof 寮に住んだが、とても快適だった。シェアキッチンが4人～12人ほど場所によって大きさが違う。自分は4人でのシェアキッチンで、問題があっても解決しやすくよくキッチンメイトと食事をした。外食は、ケバブミールやピザは大きくて安くお気に入りだった。

でも自分で作るほうが格段に安いと思う。自分はたくさん食べるほうなので、パスタやポテトなど安い食材をよく食べた。オープンもあり、調味料も棚にたくさん残っていてバリエーションに困ることはあまりなかった。

Olof にはサウナや小体育館、カフェ、卓球台など施設が充実している。ジムは後期は改修のため使用できず、Fysiken というジムに月 5000 円程払って通った。

娯楽・趣味に関して、自分は自然豊かな場所が好きなので、slotskogen（大公園）、archipelago（フェリーで15分位にある離島）はトラムの定期圏内で無料でいけるのでよく行った。晴れた日に外でFIKAするのはとてもスウェーデンカルチャーっぽくて好きだった。

パーティーも学生が多いので毎週のようにあった。友達もつれて行くのが普通でそこで新しい友達ができたりもする。クラブも人気で自分も日本では行ったことなかったが、行ってみると面白かった。汚いイメージはなくて、純粹に飲んでダンスを楽しむ雰囲気はいいなと思った。また行事・イベントはとても豊富だと思う。FB ページを大いに活用して、学校だけでなく、ソーシャルグループにも属すると毎週のようにいろいろなイベントを見つけることができる。

冬に GalmstadenFF というサッカーチームに参加し春には公式戦があり出場するために国際移籍をした。みんな体が大きく、プレーもとても激しかった。歳をとっていても、上手くなくても真剣でガッツあふれるスタイルに尊敬の念を抱いた。シーズンのちょうど半分までプレーできてチームにも馴染めていい思い出になった。

旅行はイギリス、ドイツ、フィンランド、デンマークくらい。イギリスは行きたいと思っていた国で、Stansted 空港なら安いと 1000 円～2000 円でイエテボリから行けてしまうので是非お勧めする。

【学習に関するレポート】

環境経済が一番楽しみにしていた授業だった。公害・空気汚染などの市場で取引されない外部不経済を企業に取り込む際に用いるキャップ・トレードシステム等を図やエクセルを用いて具体的に学んだ。コストベネフィット分析に加え環境負荷もコストとして実際に計算した。最終テスト形式は記述テスト。一度目でクリア出来ず、再試で合格した。授業数は週に3回（各3時間）で、2タームにわたり継続され単位数は15。

Labour market in Scandinavian countries は、各国がどんな産業に頼っているのかの比較を行った。とくにスウェーデンの労働市場を詳しく学んだ。授業はたった週に1回（2時間）しかなかったため、割と暇だった。記述式テスト形式で単位数は7.5。

交換留学修了レポート

The location of industry はとても面白い授業だった。

最終レポートが 5 つあったが、旅行の時期と重なり時間が足りずグループアサイメント合わせて 4 つしか終わらず諦めた。各産業がどのような地区に発達したのかという分析と、異なる産業どうしの意外で複雑な関係を分析した。経済を考えるうえで、「場所」は密接な関係があるのを学んで損はない、面白い授業だった。テストはなく単位数は 7.5。

Education of Sustainability は教育学部の授業のため、経済学部からの許可が必要だったが興味があり取らして頂いた。印象的なことはクラスで先生とともに近くの川辺に行き 20 分ほど周りの音を聞いてみた。車やトラムの走る音から鳥のさえずりや草が風になびく音まで聞き、徐々に人間的な観点から自然的な観点到立ち戻れた。発表は森林破壊に対する取り組みを取り上げた。サステナブルという言葉が浸透し始めたのは数十年前で、大事なことは一人一人に果たす役割がある。それに気づかせる教育をすることは一つの教科としてではなく全てのカリキュラムや場面で考えられるので自分の周りの人々にもサステナブルにポジティブな影響を伝染したいと思った。授業数は週に 1 回で単位数は 7.5。